

『吹きこぼれの春』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『吹きこぼれの春』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『吹きこぼれの春』を読んだことのある10代～50代の男女28名
調査期間	2025年10月19日～2025年10月20日 2025年12月14日 2026年1月11日 2026年2月8日 2026年4月12日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス・ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hukikoborenoharu/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『吹きこぼれの春』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

30代男性	2人
30代女性	1人
40代男性	4人
40代女性	7人
50代男性	13人
50代女性	1人

Q2: 『吹きこぼれの春』の感想を教えてください。

『吹きこぼれの春』1巻	医療事務の仕事をしているけいの姿がとても魅力的に見えました。彼女はシングルマザーで平太という息子と一緒に生活しているのですが息子が不登校という問題を抱えているのでそこがとても切ないですね。ですが、けいはそんな境遇でもへこたれずに仕事に一生懸命なのでその健気な姿
-------------	--

	に心打たれます。職場の環境もそれほど良くないのですが、けいのシングルマザーとしての心意気にすごく共感できます。
『吹きこぼれの春』1巻	不登校の息子を1人で育てるけいの職場に院長の息子が現れ、ある意味運命的な出会いを果たすも、第一印象は最悪というところが面白かったです。口は悪いけれど、人生に絶望する小学生に心を打たれ、院長の跡を継ぐ決意をする渚と、子供を生んで以来、どこか冷めた目で現実を割り切っているけいが、けいの子供を通して繋がるどころもワクワクしました。
『吹きこぼれの春』1巻	シングルマザーの大変さを痛感した気がします。子どもが小学生になれば少しは楽になるかと思いましたが、それは子どもの学校生活に問題がない場合に限りです。平太のように体調を崩しやすい子どもがいると、仕事を続けるのも大変だと感じました。一番気がかりなのは平太のことです。段田先生が平太のことを十分に理解していないように思えました。本来なら母親に頼るべきですが、それはできません。精神的な病気ではなく、重い病気を抱えている可能性もあり、とても心配です。
『吹きこぼれの春』1巻	女性職場の嫌な部分が早速描かれていますね。そんな中、シングルマザーとして強く生きているけいを尊敬しますし、応援したくなります。平太の手と足切り取って発言は相当追い込まれている証拠ですね。母親想いってところが更に辛い気持ちになります。今後渚がどう動いていくのか楽しみです。
『吹きこぼれの春』2巻	岸さんのように本人に対して面と向かってハッキリ言う人は少ないでしょうが、未婚のシングルマザーという立場や不登校の子どもに対する発言や、同僚からの不満の声などとても現実味があると感じました。岸さんの息子と思いき新しい算数講師とけいの間に過去なにかあったのかも気になります。ラストの上条先生のセリフにけいがなんと答えるのかも気になるところです。
『吹きこぼれの春』2巻	相手が患者さんって立場だと、なかなか強く言い返せないですね。それにしても、けいさんすごく頑張ってるじゃないですか。理不尽に責められて、それでもじっと我慢して。そんな彼女の何がいけないのでしょうか。シングルマザーなんて今やいくらでもいるというのに。とにかくかわいそうすぎる。代理とはいえ院長なんだから、上条なんとかしてほしい。
『吹きこぼれの春』2巻	渚の働きぶりには驚かされました。さすが大学病院で勤務してただけのことはありますね。その仕事の腕前は本当に素晴らしかったです。女性の患者が増えるのも納得できました。気掛かりなのは岸です。平太には昔の知り合いと誤魔化していましたけど、あの雰囲気を見ると単なる知り合いとは思えません。二人が一体どんな関係だったのか、とても気になりました。
『吹きこぼれの春』3巻	シングルマザーなんてという患者さんたちの理不尽な怒りを修めるために付き合いおう。そんなこと言われて素直に従うけいじゃない。ここは断って正解です。上条って最悪ですよ。でもきっとそんな彼と徐々に愛し合うこととなるんですね。それが漫画の王道とはいえ、これからどうなるのか気になります。最悪状態からの流れですよ。
『吹きこぼれの春』3巻	上条先生に口説かれていい感じになるとしたら、あれれって感じで素っ気なく断っちゃう。誘ってる方の上条先生も口説いてる割に素っ気ないし、これだと当分カップル成立しなさそう。でも子供の勉強部屋をきっかけにちょっとだけ接近した感じはあるので、今後の関係改善に期待が持てそうな感じです。でも平太くんの父親の問題も浮上ってきてまだまだどうなるか目が離せないですね。
『吹きこぼれの春』3巻	今回は色々妄想が捗りました。けいが岸と出逢った時の雰囲気は普通じゃなかったんですね。二人の間に何かあると感じていただけに、この展開には納得です。気掛かりなのは岸が今後どう動くかです。仮に平太が岸の息子だったとして、どうするのでしょうか。岸は婚約者がいる身ですし、けいと復縁なんて出来ません。あくまで想像通りだったらの話ですけど、今後の展開に注目したいです。
『吹きこぼれの春』4巻	平太は実は勉強が得意だということが作中で判明するのでその点もすごく興味深く映りましたね。久しぶりに行った学校で授業を受けることになるのですが、そこで周りの生徒よりも出来が良すぎるせいで思い悩む平太の姿がとても気になります。いろんな葛藤が平太の中に蠢いているのが作画から伝わるので必見ですね。そんな気持ちを察してくれる渚の優しい声かけの場面もすごく心が癒されます。

『吹きこぼれの春』4巻	母親の手料理を食べたことがない。自分のためにと作ってくれた料理、それはレストランの有名シェフが作るどんなごちそうでもかなわない温かさがあるものです。それを食べたことがないというのは、上条の人格形成に大いに関係しているのでしょうか。そんな彼に作るけいの手料理。きっと少しずつ二人が歩み寄る重要アイテムとなることでしょうか。
『吹きこぼれの春』4巻	渚の気持ちがかなりけいに傾いて来ているんだなって感じました。というのも渚は以前、女の身体は好きだけど女の中身は嫌いと豪語していたことがあります。そんな渚が一職員の女性と食事を共にしようと思うでしょうか。特別な感情を抱いているからでしょうし、渚の変化が面白く感じました。気掛かりなのは平太の父親が誰かです。恐らく岸の想像通りではないでしょうか。この質問にけいはどう答えるか、注目したいです。
『吹きこぼれの春』5巻	けいの元彼である岸の存在がとても気になりますね。けいの息子平太が実は自分の息子なのではないかと察して、けいに問い詰めている姿がとても興味深いですね。けいは平太の父親のことを今まで誰にも言っていなかったのが気になるのは無理もありませんね。岸の気持ちにも少しばかり共感できますし「一人で育てたい」というけいの思いも汲んであげたいという気持ちも理解できます。
『吹きこぼれの春』5巻	高志郎とけいが夫婦だったとは。ここにきてまさかの展開です。それにしても、嘘とはいえけいがちゃんと愛している人がいると言ったときの彼の表情は安心したというもので、彼女の今を心配していたことは分かります。なんでこんな相手と別れることとなったのか。その辺りが気になる場所ですね。またよりを戻すとかあるのでしょうか。
『吹きこぼれの春』5巻	やはり平太の父親は岸だったんですね。そうではないかと予想していたとはいえ、事実とわかれるとそれはそれでショックでした。気掛かりなのは、優奈が岸とけいが楽しそうに過ごしているところを目撃してしまったことです。本来なら、問題ないシーンと言えるでしょう。岸は教師をしているのですから、生徒の相手をしていたら母親とバツリ出会ったなんて普通にあること。しかし優奈は岸達の間にある雰囲気違和感を覚えたように感じました。優奈がどのような反応を示すのか注目したいです。
『吹きこぼれの春』6巻	このエピソードでは、渚が思ったよりもけいのことを考えてくれているのが伝わってきて安心しました。しかし、まだ渚とけいの間ではすれ違いがあったりして、なかなか距離が縮まらないところもどかしかったです。そんな二人の関係を疑うようなキャラクターも登場したりするので、これから先の展開がどうなっていくのかワクワクが止まりませんでした。
『吹きこぼれの春』6巻	結婚前提に付き合っているとまで言い切ったけいですが、今のところは上条とそこまで至っていない。そして岸は岸で優奈という婚約者がいる。彼女もほんといい子で。なんだかんだと複雑に入り組んでいて、そこにけいのうそがどのように波乱を起こしていくのでしょうか。未婚のシングルマザーってほんと不確かな立場にいますよね
『吹きこぼれの春』6巻	今回は冒頭からドキドキしました。というのも、けいと岸の関係がバレルかもと思ったからです。もし、けいが岸の元カノであり、平太は二人の子供だと知っていたらどうなっていたのでしょうか。今は関係ないとはいえ、それを優奈が信じてくれるとは思えません。やり過ごせたことに胸をなでおろしました。気掛かりなのはラストシーン。渚のセリフって、岸に宣戦布告しているようなものでしょう。岸はけいに未練を残しているようすし、この言葉にどんな反応を示すのか注目したいです。
『吹きこぼれの春』7巻	渚と岸がけいので会話しているシーンがとても印象に残りましたね。けいのことをどう思っているのか岸から問いかけられて素直に「気になっている」と答えた渚がとにかく格好良く見えましたね。岸もまたけいのが気になっている様子で二人の男性から想われるけいはある種幸せ者ですね。でも岸には婚約者がいるのでここは身を引いてほしいところですね。
『吹きこぼれの春』7巻	すでに婚約者がいるのにかつての恋人のことが気になってしょうがない岸、そして嘘の結婚宣言をしてしまったけいと気になってるとつい言い切った渚。なんとも複雑な三角関係ですね。岸には婚約者がいて、しかも彼女はとってもいい子。二人で幸せになっちゃってくださいよ。そしてけいと渚が収まれば、それでめでたしめでたしなんですけど。

『吹きこぼれの春』7巻	子育てとは難しいものだと感じました。職場の女性達は平太を甘やかしすぎだとけいを責めますが、その気持ちも理解できます。身体が弱いわけではなく、運動不足気味とはいえ大人の渚よりも体力があるのですから。以前、無理に学校へ行かそうとして大変な目に遭ったからと言って、今後も平太がグズるたびに学校を休ませるつもりなのかと違和感を覚えました。気になったのは渚が電話を掛けた井出についてです。雑誌に写っている井出はかなりの美人と言えるでしょう。それにもかかわらず、渚は電話をかけるのをためらっている様子がありました。二人の間に何があったのか、とても気になりました。
『吹きこぼれの春』8巻	雑誌にも掲載されるような時の人である井出と渚が恋仲であったことに驚きました。会話の内容的に、井出には納得出来ない部分があるのでしょうか。どんな別れ方をしたのか気になりました。
『吹きこぼれの春』8巻	母親の出方にも注目したいです。渚に病院へ戻ってきて欲しい母親からすると、井出との復縁は絶好のチャンスと言えるでしょう。そのためにどのような手段を用いるのか、気になりました。
『吹きこぼれの春』9巻	井手がとんでもない女性だと知って、驚きました。渚と井手が別れたことは知っていましたが、原因は渚にありそうだと思っていたんです。渚は今でこそ個人クリニックで院長代理をしていますけど、少し前はブラブラしている無職の人でした。一方、井手は大学病院で准教授として働いています。社会的な信頼度からすれば井手の方がかなり高いと言えますし、人間性に問題があるのも渚の方だろうと思っていたから。
『吹きこぼれの春』9巻	最悪なのは井手の方だったんですね。渚に落ち度があるとすれば、不倫するような女性を信用してしまったということぐらいでしょうか。これだけのことをしておいて、よく渚と普通に話が出るものだと呆れました。
『吹きこぼれの春』10巻	移動教室の件は残念でした。これまでの描写から、平太が非凡な才能を持っていることはほぼ間違いないでしょう。だからこそ、移動教室に参加していれば、その実力をさらに周囲に示せたはずであり、その機会を逃してしまったことにショックを受けます。
『吹きこぼれの春』10巻	ゆうなのことが気にかかりました。というのも、彼女の言動から察するに、妊娠している可能性は高いと思います。そんな大切な時期に、志郎の元カノの存在を知ってしまったことは、精神的にも大きな負担になるはずです。この出来事がゆうなの心にどのような影響を与えることになるのか、今後の展開から目が離せません。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス